



2009年3月29日

いま起きつつあること…



地球規模の経済的な不正義と環境破壊に立ち向かう信仰告白である「アクラ信仰告白」について、数回にわたり、香月牧師にレポートしていただきます。

東京地区三教会での学び

東京地区の三教会（国立のぞみ教会、東小金井教会、めぐみ教会）では、共同の働きの一つとして「リーダー研修会」を毎年行なっています。今年も昨年同様、信仰告白シリーズ第二弾として「現代に生きる信仰告白―アクラ

信仰告白に学ぶ」をテーマに、荒瀬牧彦牧師に講演をしていただきました。荒瀬師は2004年7月にガーナのアクラで開催された世界改革教会連盟（WARC）第24回総会に代議員として出席されましたので、その会議の様子も織り交ぜながら、話してくださいました。

私たちの信仰告白とのひびきあい

今回学んだ「アクラ信仰告白」は、地球規模の経済的な不正義と環境破壊に対して、キリスト者として積極的に応答する必要性と緊急性からアクラ総会で採択されたものです。荒瀬師はまず私たちの信仰告白の第6章「キリスト者は、この世で生活し、証しする」から説き明かし、キリスト者がキリストに示された奉仕とあわれみの行為だけでなく、生活の全領域におけるキリス

ト教的価値と理念の倫理的道徳的な良い行ないが求められていることから語り始められました。そして私たちが告白しているクリスチャン・スチュワードシップの「管理の務め」の責任応答に言及され、神からの賜物がすべての人、特に貧しい人々と分かち合うものであること。そして「この世の政治」の項に続き、6・30「人間の尊厳を否定する政治的、経済的、文化的、人種的抑圧状況に反対し、抵抗し、変革を求めていく」ことの抵抗権と変革遂行を取り上げて、特に、アクラ信仰告白は、経済的な不正とその変革のための視点が、告白への出発点となっていると指摘されました。

三種類の信仰告白

また信仰告白をまとめられ、私たちにあって関係の深い信仰告白は、大別すると三

種類に分けられる。

第一は、古代の信仰告白。キリスト教信仰の中核であり、教会が一致して信じている基本信条である使徒信条とニケア信条。

第二は、宗教改革時代の信仰告白。カトリック教会に對抗して、聖書による、信仰のみによる正しい信仰として告白されたもの、ウエストミンスター信仰告白、ハイデルベルク信仰告白など。

第三は、現代の信仰告白。ナチス・ヒットラーに抵抗し、イエス・キリストを明確に告白したバルメン宣言（1934年）。非常に困難な時代的な状況、キリスト告白に対する危機的な状況の中の信仰告白。これがバルメン宣言です。

私たちの教会の信仰告白は、形としては、宗教改革時代のものですが、内容では、第三のものであります。

（次号に続く）